

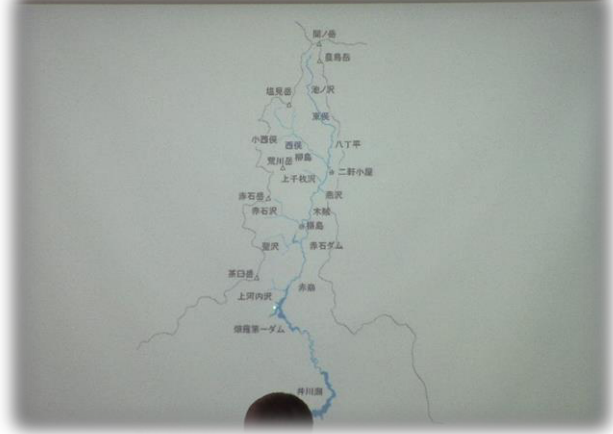
# 静岡市環境大学2019 講座報告 10日目

## 演題：南アルプスの成り立ちと自然環境

静岡大学 名誉教授 増澤武弘様

場所：沼上資源循環学習プラザ（しずもーる沼上）3F

時間：10：45～12：00



### 要点1：南アルプスとは

- 3000mを超える峰が13座ある。
- 標高3192mの北岳から南方にのびる白峰山塊、これから南北へのびる赤石山塊、北岳の北東に位置する鳳凰三山などの山群を含む大きな山域である。

### 要点2：南アルプスの荒川岳の氷河地形（カール）

- 氷河地形（カール）の中には主に以下のような地形がある。
- カール壁：氷河による浸食面で、最終氷期中に形成された。氷河が消失した以降は岩盤の凍結破碎をはじめとする風化作用を受けてきた。
- カール底：極めて平坦な地形でカール内において最も雪解け時期が遅く、年によっては水がたまることがある。
- モレーン：氷河によって運ばれた礫が氷河の末端で堆積してできた、堤防状の地形である。

### 要点3：南アルプスの高山植物群落・周北極植物

- 荒川岳付近では南アルプス有数のお花畑があり、150種以上もの高山植物が生育している。
- お花畑では主にキンポウゲ科植物やタカネヨモギなどが優占種となっていて、クルマユリやバイケイソウ、ミネウスユキソウなど様々な植物が生育していて、華やかな高山植物が競い合うように咲いている。
- 周北極植物とは、北極を中心とした北半球北部に分布する植物のことである。
- チョウノスケソウ、ムカゴトラノオなどは荒川岳、赤石岳付近が分布の南限となっていて、氷河地形の分布と一致している。

## 受講生の感想

◆上高地には何度か行ったことがあるが南アルプスには行ったことがないので今度行ってみたいと感じた。ライチョウやオオイチモンジ等も直接見てみたいと感じた。南アルプスの事をもっと知り、他の人達にも南アルプスの魅力を伝えていきたい。

◆南アルプスについて詳しく知れたので面白かった。